

第4号議案 2022年度事業計画

1) 第65回定時総会

- ・ 2022年6月22日(水)に、第65回定時総会をオンラインにて開催する。

2) 出版関係

①日本画像学会誌

- ・ 2022年度分6冊を発行する。
- ・ 2021年度までと同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。

②テキスト出版

- ・ 出版委員会を組織化して、新規出版準備(「画像処理」、「有機半導体」、「3Dプリンター」)を継続する。「画像処理」については、2022年8月発刊を予定している。

3) Imaging Conference JAPAN 2022 (第129回日本画像学会研究討論会)

- ・ ICJ2019(Imaging Conference JAPAN 2022)を2022年6月22日(水)、23日(木)、24日(金)の3日間、オンラインにて開催する。
- ・ 例年、持ち回りの幹事会社制を採用していたが、今回は試行的に、コンファレンス委員会が企画・運営の主体となる方式で開催する。

(企画・運営：コンファレンス委員会)

4) Imaging Conference JAPAN 2022 Fall

- ・ Imaging Conference JAPAN 2022 Fall (第130回日本画像学会研究討論会)を2022年秋に開催する。
- ・ この大会は、2014年度より続く画像関連学会連合会(*1)としての第8回目の秋季合同大会に相当する大会である。各学会の年次大会を併催し、相互に参加可能とすることで効果を上げてきている。ここ数年は、併催だけでなく、インタラクティブセッションを統合して実施するようにしており、2019年度からは、一般講演も統合化して開催している。2022年度もさらに魅力ある企画と運営の改善を行っていく予定である。

(企画・運営：関西委員会)

(*1)日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会の4学会で構成

5) シンポジウム (年間2回)

- ・ 関東シンポジウム：2022年12月にオンラインにて開催する予定。

(企画：企画委員会)

- ・ 関西シンポジウム：2022年5月13日(金)にオンラインにて開催する。

(企画・運営：関西委員会)

6) 技術講習会 (年間 2 回)

- ・ 第 86 回技術講習会:2022 年 7 月 4 日(月)~8 日(金)に、ハイブリッドにて開催する予定。
(企画・運営:事業委員会)
- ・ 秋技術講習会:2022 年 12 月に、オンラインにて「チュートリアル 2022」と題して開催する予定。
(企画・運営:関西委員会)

7) フリートーキング “Imaging Today” (年間 2 回)

- ・ 学会誌の特集“Imaging Today”の中からテーマを取上げ、解説の執筆者を講師として、気軽なトーキングの会を 2022 年度中に 2 回開催予定。
- ・ 第 41 回フリートーキング:2022 年 9 月、テーマ「高度化・多様化する(画像)シミュレーション技術最前線」を予定。
- ・ 第 42 回フリートーキング:2023 年 3 月、テーマ企画。
(企画・運営:編集委員会)

8) 技術研究会

- ・ 技術委員会の部会ごとに下記の通り、研究会等を開催予定である。

画像感性部会セミナー/勉強会

インクジェット技術研究会

トナー技術研究会

電子ペーパー研究会

サーマル記録技術研究会

電子写真技術研究会

MBD 技術研究会

9) イメージングカフェ

- ・ 平日夕方の時間帯に、仕事帰りに気軽に立ち寄り、最新技術、昔話、他分野情報、専門知識など広範囲なテーマで講師からの話を聞いて、意見交換ができる交流空間であるイメージングカフェを、例年通りほぼ月 1 回の割で開催する予定。2022 年度は、昨年度までと同様に関西地区での開催も予定している。開催要項案は以下の通り。
- ・ 開催日・時間・会場:
通常企画は、金曜日 18:30~20:20、会場:東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター
スペシャル企画は、15:00~19:50、会場:東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター
*開催日時、会場は都合により変更となる場合があります。
- ・ 参加資格:どなたでもご参加可
- ・ 参加費(通常企画):個人会員(維持会員含まず)1,000 円、個人会員以外 2,000 円
(サマー、年末スペシャルは上記参加費とは異なります。別途ご確認ください)

1 0) 関連学会との交流

- ・ 米国画像学会 IS&T が主催する国際会議 **Printing for Fabrication 2022** (2022 年秋)に協賛するとともに、この実行委員会に参画して協力する。
- ・ 国際交流委員会が中心となり、これに画像関連学会連合会の助力を加えて、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。
- ・ 感性部会を中心として、日本視覚学会と合同セミナーの開催など継続して連携を深める。

1 1) 「複写機遺産」認定事業

- ・ 2018 年度に、学会創立 60 周年と電子写真技術生誕 80 周年を記念して制定した「複写機遺産」認定事業を、2022 年度も継続して実施する予定である。

1 2) 4DFF 研究会

- ・ 4DFF 研究会の取り組みとして、昨年に続き、コンファレンス(4DFF2022)開催、研究会開催を予定している。4DFF2022 は、2022 年 10 月 13 日(木)、14 日(金)にハイブリッド形式で開催する予定である。

2022年度学会暦

2022年5月27日

		2022年度																								
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
水					1																	1			1	
木					2							1						1					2			2
金	1				3		1					2						2					3	視覚と画像の基礎講座	3	
土	2				4		2					3		1				3					4			4
日	3		1		5		3					4		2				4			1	元旦	5			5
月	4		2		6		4	技術講習会		1		5		3				5			2	元旦振替	6			6
火	5		3	憲法記念の日	7		5	技術講習会		2		6		4		1		6			3		7			7
水	6		4	みどりの日	8		6	技術講習会		3		7		5		2		7			4		8			8
木	7		5	こどもの日	9		7	技術講習会		4		8		6		3	文化の日	8			5		9			9
金	8		6		10	257号発送	8	技術講習会		5		9		7		4		9			6		10	281号発送	10	
土	9		7		11		9			6		10		8		5		10			7		11	建国記念の日	11	
日	10		8		12		10			7		11		9		6		11			8		12			12
月	11	256号発送	9		13		11			8		12		10	スポーツの日	7		12	280号発送	9	成人の日	13	理事会	13		
火	12		10		14		12			9		13		11	259号発送	8		13			10		14			14
水	13		11		15		13			10	258号発送	14		12		9		14			11		15			15
木	14		12		16		14			11	山の日	15		13	4DFF	10		15			12		16			16
金	15		13	関西シンポジウム	17		15			12		16	視覚と画像の基礎講座	14	4DFF	11		16	理事会	13		17		17	理事会	
土	16		14		18		16			13		17		15		12		17			14		18			18
日	17		15		19		17			14		18		16		13		18			15		19			19
月	18		16		20		18	海の日		15		19	敬老の日	17		14		19			16		20			20
火	19		17		21		19			16		20		18		15		20			17		21			21
水	20		18		22	IC-J2022	20			17		21		19		16		21			18		22			22
木	21		19		23	IC-J2022	21			18		22	イメージングカフェ	20	理事会	17		22			19		23	天皇誕生日	23	
金	22		20		24	IC-J2022	22	イメージングカフェ		19		23	秋分の日	21		18	視覚と画像の基礎講座	23		20	技術委員会総会	24				24
土	23		21		25		23			20		24		22		19		24			21		25			25
日	24		22		26		24			21		25		23		20		25			22		26			26
月	25		23		27		25			22		26		24	電子ペーパー/フレキシブル研究会	21		26			23		27			27
火	26		24		28		26			23		27		25		22		27			24		28			28
水	27		25		29		27			24		28		26		23	勤労感謝の日	28			25					29
木	28		26		30		28	理事会		25		29		27		24		29			26					30
金	29	昭和の日	27	理事会 イメージングカフェ			29	視覚と画像の基礎講座		26		30		28		25		30			27					31
土	30		28				30			27				29		26		31			28					
日			29				31			28				30		27					29					
月			30							29				31		28					30					
火			31							30						29					31					
水										31						30										

(3) 2022年度予算案
2022年度 日本画像学会収支予算案

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位:円)

科 目	2022年度当初予算	2021年度決算	2021年度当初予算	21予算との差異	備考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
特 定 資 産 運 用 収 入	2,500	587	2,900	-400	
会 費 収 入	18,450,000	18,273,919	19,500,000	-1,050,000	
正 会 員 会 費 収 入	5,600,000	5,230,375	6,000,000	-400,000	会員数維持
維 持 会 員 会 費 収 入	12,800,000	12,790,624	13,000,000	-200,000	維持会社口数維持
4 D F F 会 費 収 入	50,000	252,920	500,000	-450,000	
事 業 収 入	8,760,000	9,267,458	24,050,000	-15,290,000	
研 討 ・ 研 究 会 参 加 費	4,400,000	2,403,500	3,000,000	1,400,000	ICJ春秋開催、オンライン想定
講 習 会 参 加 費	1,800,000	1,897,000	1,800,000	0	オンライン想定、対面併用もあり
試 験 標 準 品 頒 布 収 入	1,500,000	1,403,300	1,500,000	0	標準キャリア頒布
予 稿 集 ・ 技 術 資 料 頒 布 収 入	50,000	81,110	50,000	0	
出 版 物 頒 布 収 入	10,000	0	100,000	-90,000	イベントでの頒布見込小
会 誌 購 読 ・ B N 頒 布 収 入	500,000	688,140	800,000	-300,000	21年度実績より
広 告 収 入	500,000	390,000	800,000	-300,000	オンラインでの展示会規模小
雑 収 入	0	0	0	0	
国 際 会 議 関 係 収 入	0	1,982,408	16,000,000	-16,000,000	国際会議開催なし
4 D F F 研 究 会 収 入		422,000			
受 取 利 息 収 入	0	230	300	-300	
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	22,254	0	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	22,254	0	0	
事業活動収入計	27,212,500	27,564,448	43,553,200	-16,340,700	
2. 事業活動支出					
事 業 費 支 出	14,120,000	14,851,040	31,370,000	-17,250,000	
会 誌 発 行 費	7,800,000	8,767,826	7,500,000	300,000	年6回発行、諸物資高騰考慮
4 D F F ジ ャ ー ナ ル 発 行 費	100,000	0	200,000	-100,000	21年度実績から
研 討 ・ 研 究 会 開 催 費	2,500,000	1,066,820	2,500,000	0	ICJ春秋開催、オンライン想定
講 習 会 開 催 費	1,000,000	1,207,008	1,500,000	-500,000	オンライン想定、対面併用もあり
試 験 標 準 品 作 製 費	700,000	590,700	700,000	0	
出 版 物 作 製 費	200,000	0	200,000	0	
デ ジ タ ル 化 費	800,000	1,241,117	800,000	0	
学 会 賞 費	660,000	344,563	660,000	0	
諸 委 員 会 費	100,000	0	500,000	-400,000	オンライン想定、対面併用もあり
理 事 会 ・ 評 議 員 会 ・ 総 会 費	50,000	31,890	400,000	-350,000	オンライン想定
国 際 会 議 関 係 支 出	0	1,078,000	16,000,000	-16,000,000	国際会議開催なし
4 D F F 研 究 会 支 出	160,000	523,116	160,000	0	
国 際 交 流 費	50,000	0	250,000	-200,000	海外からの参加者補助としての想定なし
管 理 費 支 出	12,010,000	11,269,338	12,830,000	-820,000	
通 信 運 搬 費	450,000	308,495	650,000	-200,000	オンライン想定での運搬費削減
事 務 費	1,300,000	1,224,905	1,300,000	0	
事 務 員 費	9,800,000	9,611,470	10,500,000	-700,000	
事 務 機 械 化 費	200,000	0	100,000	100,000	
雑 費	100,000	63,968	120,000	-20,000	新型コロナ対策費等
租 税 公 課	0	1,000	0	0	
管 理 諸 費	60,000	59,500	60,000	0	
退 職 給 付 費 用	100,000	0	100,000	0	
法 人 税 等 支 出	70,000	70,000	70,000	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	0	3,550	0	0	
事業活動支出計	26,200,000	26,193,928	44,270,000	-18,070,000	
事業活動収支差額	1,012,500	1,370,520	-716,800	1,729,300	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計	0	0	0	0	
2. 投資活動支出					
特 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0	0	国際会議準備金は積み立て休止
器 具 備 品 取 得 支 出	0	0	0	0	
器 具 備 品 購 入 支 出	0	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	
当期収支差額	1,012,500	1,370,520	-716,800	1,729,300	
前期繰越収支差額	32,468,001	31,097,481	31,097,481	1,370,520	
次期繰越収支差額	33,480,501	32,468,001	30,380,681	3,099,820	